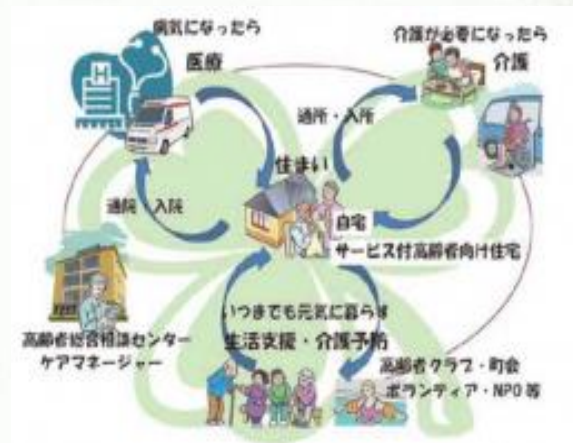


## リハビリ専門職種が「初回アセスメント強化事業」等で高齢化への対策推進が進む！

東京都豊島区にて新たな支えあい・共生社会づくりの基盤を強化する目的で  
リハビリテーション専門職のアドバイスを利用者自身の生活に反映させることで、介護予防の強化を図る動きが出てきています。

内容は総合事業対象者の初回アセスメント(利用者が抱える問題点と解決すべき課題の把握)時と3か月後の評価時の2回、高齢者総合相談センター職員(ケアマネジメント実施者)にリハビリテーション専門職が同行し、利用者の心身状況の確認、機能向上への取り組み及び活動・参加に向けたサービス利用などの助言を行う。

リハビリテーション専門職が初回アセスメント時に同行し助言を行うのは23区では初めてとなります。



## 地域包括ケアシステムのイメージ

豊島区:平成29年度予算案重点事業より引用

## 地域リハビリテーション 推進セミナー

平成29年6月2日(金)

19:00~20:00

場所:豊島病院 8階研修室

所在地:板橋区栄町33-1

テーマ:地域包括ケアシステムにおける多職種・多主体協働の重要性

-地域リハビリテーションに関わる専門職に期待される役割とは-

【講師】

埼玉県立大学大学院保険医療福祉学研究科

兼 研究開発センター

教授 川越 雅弘 先生

※同日18:30~「板橋区地域リハビリテーションネットワークの平成29年度定時総会も開催致します」

## 自律神経について

この患者様リハビリに対する意欲が低いなあ。  
もしかしたら自律神経が問題かもしれません！

### 1. 身体的・精神的ストレス

人間関係、仕事のプレッシャーなどの悩みや不安による精神的なストレス、過労、事故、怪我、さらには音、光、温度なども身体的なストレスとなって自律神経の乱れの主な原因になります。そのストレスが過剰になると、交感神経と副交感神経のバランス、つまり自律神経のバランスが乱れます。

### 2. 昼夜逆転など不規則な生活

私たちの体は一定の生体リズムに従って働いています。慢性的な寝不足や昼夜逆転、不規則な食生活など不摂生を続けていると、生体リズムが狂って自律神経のバランスを乱す原因になります。

### 3. 疾患

自律神経失調症や更年期障害が自律神経の乱れを引き起こす代表的な疾患。自律神経失調症は、過剰な精神的、身体的ストレスが引き金となって自律神経が乱れることで発症し、その症状としてさらに自律神経が乱れるという悪循環に。更年期障害では、女性ホルモンの分泌が急激に減ることで自律神経が乱れ、突然のほてりやのぼせ、頭痛、めまいなどさまざまな不調が。